

令和元年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【町民文化センター展示ホール】中央・仲町・新松田・谷戸自治会

要望等 受理年度	No	テーマ	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
R1	1	自治会役員の高齢化について	<ul style="list-style-type: none"> ・このテーマについて町としてどう考えているのか何もない。ここに見えている方は町民の方だが、一部の方に対策などを話しても意味がない。町民のための座談会なので、町民からの意見を今後どうするのかを回覧やら広報やらでお伝えする必要があるのではないか。それも町の活性化につながるのではないか。 ・町からくる自治会の役員、町からの委員、県からの依頼が町に来てそのまま下りてきている委員。みんな垂れ流して自治会に話が来る。自治会の三役の受け手がいないというのが少しずつ出てきているが、町としてどう対策していくのか。例えば、誰も受け手がいなかった場合はどうするのか一つの疑問。昔と働く環境が変わってきている。昔は60～65くらいで現役引退して、家にいるので、自治会にも協力できていたが、今は国も厚生年金で70歳のラインを示しており、70歳過ぎても働くとなると、仕事をしてから自治会できないよとなってくる。環境が変わっている。町としてそこをどうするのが見えてこない。自治会がなくてもよいのかっていうのは昨年も言わせてもらっている。 ・第6次総合計画の中でもそういうことをしないうですかって。一つだけ言わせてほしい。この座談会も町民に対して結果が出てこないが、第6次総合計画ができ、第5次総合計画についてどこまでできて、どこまでできなかったというのが、なぜ町民に出てこないのか。これは町のすごく悪い体質ではないかと思う。町がこの問題についてどのような対応をとっていくのかお聞きしたい。 	総務課 政策推進課	<p>〈総務課〉 自治会の現状も社会情勢や家族形態などの変化により、次世代の担い手不足は今後も大きな課題であります。自治会のあり方を検討していかなく、必要に応じて自治会同士の統合により行政区として対応するなど様々な対応策を検討してまいります。現状を見極め、先ず町職員の地域担当制の導入により諸問題の解決への取組を始めたところです。今後は、先ず協議会の皆様と協議を行い、それでも困難な事柄は税金を投入し、町民サービスの維持・確保を行います。</p> <p>〈政策推進課〉 第5次総合計画のPDCAサイクルの公表や成果をどのように第6次につなげていくのかということについては、松田町総合計画審議会で協議及び評価を行っていただき、第6次総合計画を策定しました。その策定過程において、第5次の進捗状況については整理をし、審議会資料として町公式サイトにおいて掲載をさせていただきました。しかしながら、今までは進行管理の情報や達成状況が、その都度、公表されていませんでしたので、第6次につきましては、審議会を毎年2回開催し、その審議結果をその都度、町民の皆様にお示ししてまいります。</p>
R1	2	自治会役員の高齢化について	<ul style="list-style-type: none"> ・県、国から民生児童員などの依頼があるが、自治会云々ではなく町としての見方ということをしなければいけないのではないかと思います。整理することで自治会の負担も減るのではないかと。なんでもかんでもそのまま自治会に落とすのでは、自治会長が背負っているのが現状で、自治会長の負担がどんどん増えてくる。それを見ていると今後の人が役員を敬遠してしまう。 ・今回の民生児童委員の話も、町からいただいた民生児童委員の事業、役割をまとめた紙を見せると、こんな量ではできないと回答がくる。役があってもやり手がいないとなり、それだけ会長の負担が増えてしまう。高齢者も仕事をしていてできない。若い人はもっとできない。年金暮らしの人も、体調がすぐれないなどでできない方もいる。そこを町としてどう整理していくのが重要だと思う。 ・広報の配布について、観光協会は、広報と回覧、ポスターまで出しているが、広報で出せばポスターはいらないのに、何でもかんでも2回出そうとする。現状は同じものを1日に全戸配布、15日に回覧をしていかぶっている。量を平準化することで、その負担も減るのではないかと。 	総務課 福祉課 観光経済課	<p>〈総務課〉 自治会員の高齢化、担い手不足はどの自治会でも不安材料の一つになっています。配布物については、他の課と合わせて1枚にするとか枚数を減らすなどするにはしていますが、より一層周知してまいります。各種委員の選出については、町としても対応に苦慮しております。近隣市町村など情報を収集し、提案できるものがあればお伝えしてまいります。</p> <p>〈福祉課〉 民生委員法の規定により、おおもとは厚生労働大臣の委嘱となります。その次に県、更に町と3層構造になっています。令和元年12月の民生委員児童委員の一斉改選により、定数37名のところ34名の方にお受けいただくことが出来ました。委嘱にあたっては、大変なご苦労をおかけしました。ご協力に感謝し、改めてお礼申し上げます。今後、民生委員児童委員の方とはコミュニケーションを取りながら、業務量の軽減、依頼の窓口を一本化し過度な負担とならないように配慮をするなどし、活動しやすい環境を皆様と一緒に作り上げてまいります。</p> <p>〈観光経済課〉 町最大の観光イベントであります「まつだ観光まつり」では、皆様に掲示いただくポスターを二回配布いたしました。これは、掲示板において破損等した場合の対応としてお配りしたものでありますが、町広報等の配布方法について、いただいたご意見を参考に今後の配布方法等を検討するよう観光協会と調整を図ります。</p>
R1	3	自治会役員の高齢化について	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ委員などいろいろなものがあるが本当に必要なのか。例として、青少年指導員は過去に比べて半分になっている。それも県からきている。ということは民生児童委員も半分でできるのではないかと。そういうことからも見直しの余地があり必要なのではないかと。 	福祉課	<p>民生委員児童委員については、地域の見守り役として、大変重要であると考えています。そのため町全体の定数減は難しいですが、地域の実情に合わせて自治会間の定数の見直しは現職の民生委員児童委員の方の意見も承りながら柔軟に対応してまいります。</p>
R1	4	自治会役員の高齢化について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で役員が決まらない。仕事を後継者に任せ、自治会に専念するのが理想だが、今は後継者がいない。なり手がいないというのは、高齢化というもあるが、自治会について、役員に関心がないものもある。誰かがやってくれればいいという感じがする。そんな中で、行政の責任としては、提出書類が多い。前期後期で分けて出す必要があったりするが、会長が変わることがあるということが必要であると言われたが、事務的。そういったものも1回にすれば負担が減る。そういった煩雑なもので役員を敬遠する人は多いため、そこを改善できないか。 ・ポケットパークのトイレの清掃を最初は自治会でやってくれということだったが、今はボランティアでやっている。自治会に丸投げしている感がある。個人的な感想であるが、自分たちはボランティアとしてやっているの、何かの縁で町で働いているのならば、課としてだけではなく、役場全体でボランティアでやってもいいのではないかと。自治会のやる気を出させる環境づくりをお願いしたい。 	総務課 観光経済課	<p>〈総務課〉 自治会員の高齢化、担い手不足はどの自治会も不安材料の一つになっています。提出書類については簡素にし、回数を減らすことや関係機関も同様とすることを職員に周知徹底させます。 職員については毎月1日、15日に町内各所に立ち挨拶運動を実施しています。また、毎日就業前に清掃を行っています。</p> <p>〈観光経済課〉 持続的な取り組みとするため、ポケットパークのトイレ清掃は今後もボランティアの方にご協力を賜りながら、環境維持を行ってまいりたいと考えていますので、よろしく願います。</p>
R1	5	自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の建て替えと、新松田駅の整備をこれから行うとあり、立派な計画が出ているが、お金のことがない。これから1万人を確保できたとしても財政的には大丈夫なのか。住民を安心させる意味でも、データを示してほしい。 ・町民サービスの低下がないように行っていただきたい。 	政策推進課 まちづくり課 教育課	<p>公債費の指標については2018年から2048年までの30年間、それを踏まえた財政推計は2018年から2038年までの20年間を試算しています。今後は、各年度の予算公表などに併せて、中長期の財政推計も町民の皆さんに分かりやすいように解説等を加えた上で、町公式サイト等に掲載し、町が目指す「いのち育み未来につなぐ」ための取組み、持続可能なまちづくりのためのSDGsの考え方を踏まえた町民サービスにつなげてまいります。</p>